様式第４号（第１５条関係）

会　　議　　録

１　附属機関等の会議の名称
　令和８年度第２回美里町政策推進・評価委員会全体会

２　開催日時　令和８年１０月１３日（火）　午後３時００分から午後３時４０分まで

３　開催場所　宮城大学大和キャンパス　４階　４０１会議室

４　会議に出席した者
（１）委員　佐々木秀之会長、川島滋和副会長、小沢晴司委員、石内鉄平委員、
　　沢田淳子委員
（２）事務局
　　企画財政課　課長　小林誠樹
　　企画財政課　課長補佐兼統計係長　髙橋仁美
　　企画財政課　政策係長　髙橋　勲
　　企画財政課　主事　工藤椎那

５　議題及び会議の公開・非公開の別
　非公開
６　非公開の理由
　会議を公開することにより、当該会議の公正かつ円滑な運営に支障が生ずると認められるため。
７　傍聴人の人数
　非公開のため傍聴なし
８　会議資料
　別紙のとおり
９　会議の概要
　別紙のとおり

別紙　会議の概要

【午後３時００分　開会】

事務局 （小林課長）	本日はご多忙のところ、ご参会頂きまして誠にありがとうございます。 本日、司会を務めます美里町企画財政課の小林でございます。前回に引き続き、よろしくお願いいたします。 ただいまから、令和8年度第2回美里町政策推進・評価委員会を開会いたします。 開会に当たり、 佐々木会長からご挨拶を頂戴します。
佐々木 会長	皆さん、今日もありがとうございます。この間の個別会のご対応、ありがとうございました。今日はよろしくお願いします。
事務局 （小林課長）	ありがとうございます。 配布した次第に基づき進行します。次第3の報告について、事務局から報告します。
事務局 （髙橋補佐）	企画財政課の髙橋です。 個別会の開催状況について、ご報告します。個別会は、美里町総合計画第3期基本計画に掲げる心わきたつ未来目標と主要課題、関連施策ごとに、担当委員と担当課で実施しました。未来目標の番号順に申し上げます。 未来目標2「住み続けたくなる移住・定住」について、石内委員と町民生活課は8月4日に開催しました。 未来目標5「挑戦と再生がひらく地域産業」について、川島委員と産業振興課は8月7日に開催しました。 未来目標6「脱炭素と経済の調和」について、小沢委員とまちづくり推進課は8月12日に開催しました。 未来目標7「3つの学び舎を未来の原動力へ」について、佐々木委員と企画財政課は8月18日と8月27日の2回、開催しました。 主要課題「高齢社会への対応と健康づくりの推進」について、沢田委員と長寿支援課は8月24日と9月25日の2回、開催しました。 委員の皆様には、お忙しい中、短期間で対応いただきありがとうございました。以上で報告を終わります。
事務局 （小林課長）	次第4の議事に入ります。 美里町政策推進・評価委員会条例第6条第1項の規定により、会議の議長は会長が務めることと定められております。 佐々木会長に議長に就任いただき、議事の進行をお願いいたします。
佐々木 会長	それでは、次第に則り、進めてまいります。 はじめに、議事録の署名人及び会議書記の選任についてですが、書記は

	事務局にお願いします。 　会議録の署名人については、川島委員と石内委員でよろしいでしょうか。
委員	【はいの声】
佐々木 会長	次に、未来目標・主要課題に対する評価結果です。お手元の配布資料1、美里町政策評価調書をご用意ください。各委員から順番に概要を報告いただき、皆さんで審議してまいります。 　それでは、小沢委員から説明をお願いします。
小沢委員	私の担当する政策評価調書について、ご報告いたします。資料の11ページ、「再生可能エネルギーの利用促進と脱炭素の推進」です。全国的に有名な舞台ファームの営農型太陽光発電施設について、整備・運用開始が進んでいる点を評価したいと思います。 　12ページに評価のポイントを書いています。舞台ファームの施設の現場見学会や、国内の他の先進事例の現地調査など、いろいろな場面で舞台ファームの取り組みが優れていると実感しています。 　水田への遮光率があるわけですが、水稲の収量にはほぼ影響を与えていません。それどころか、水田上の太陽光パネルは、水田に張った水の存在により、陸上に設置したものに比べて温度が低くなり、発電効率の向上に寄与するという調査結果があるとのことです。いろいろな意味で注目すべき事業と思っています。 　にもかかわらず、先日、美里町の再生可能エネルギー導入に関する委員会に出席したところ、その委員の中にも舞台ファームの取組が分からない方がいました。町の関係者や事業所の方などが理解を深め、町民や子どもたちのこの分野への理解を促すことが重要と考えます。 　12ページの下から4つ目のまとまりでは、財源確保の難しさを指摘しています。また、評価コメント中「次章者へ」とあるのは、「事業者へ」の間違いです。失礼しました。 　それ以降の3つの部分には、私の個人的見解も含め、美里町での可能性を考えられないかという提案を入れています。少し評価からは外れますが、私からの報告は以上です。
佐々木 会長	ありがとうございます。小沢先生は、小沢先生は環境省時代から政策的に取り組んでこられた中で、非常に高い評価をいただきました。1か所、変換ミスがありますので、訂正をお願いします。皆様よろしいでしょうか。確認や質問があれば、後ほどお寄せください。 　次に、沢田先生は時間に限りがあるとのことなので、順番が前後しますがお願いします。

沢田委員	資料1の17ページ、「高齢社会への対応と健康づくりの推進」です。高齢者も安心して暮らせるための対策として考えていますが、関係課も対象も幅広く、現状分析から実際の取組に何をつなげていくかという難しさを感じながら拝見しました。 評価コメントを読みながら補足しますので、19ページをご覧ください。高齢者施策については多くの課題がある中、現状分析と課題整理は的確に行われ、課題に対する具体的事業が検討されていると思います。また、美里町では比較的自立度の高い高齢者が多い地域特性を踏まえて施策を考えている点が評価できます。 要介護状態にならず、自立した生活を継続することは、財源面、健康面、それぞれの方が最後まで自分らしく生きる視点からも重要です。その部分を支援する視点が示されているのは、素晴らしいと思いました。 一方で、高齢者単身世帯や高齢者夫婦のみの世帯が、美里町でも増えています。その中で、体調悪化を契機とした生活機能の低下や社会的孤立など、これまでの生活や社会とのつながりが途切れることが問題となっており、支援へのつなぎ方を具体的に考えることが大事です。 検討している施策は全体として素晴らしいと考えています。ただ、今後の事業の具体化では、対象者の明確化、申込みや契約を含め、本当に支援につながる仕組みの構築、どのように導入するかを考える必要があります。段階的な導入がよいのではないかと考えました。 また、事業の目的や意図を反映した、具体的かつ評価可能なアウトカム指標を導入時から設定することと、地域全体を巻き込む推進体制の構築が重要です。この点をお伝えし、具体的な対策に反映していただくようにしました。施策の有効性や持続可能性を継続的に検証する仕組みとすることで、描いたものが実装され、地域に提供されることになると思います。以上です。
佐々木 会長	ありがとうございます。確認や質問はありますか。
委員	【なしの声】
佐々木 会長	私も全部拝見しましたが、デジタルを活用し、この部分は目標から少し離れた挑戦的な取り組みということですので、場合によっては今後モデル事業を行い、アウトカムや成果指標でデータを取るということで、今後は大学などと連携してもよいのではないかと思います。 それでは、次に石内委員、お願いします。
石内委員	資料 1－1、施策1と施策30に関わるところを評価しました。担当評価委員の評価欄をご覧ください。 美里町だけでなく全国的に空き家・空き地が増加し、その対応が大きな問

	題となっています。美里町では、令和7年度の住民意向調査の結果から、移住・定住は下位に位置していて、厳しい状況が続いていると確認されています。そのため、移住・定住に着目することは非常に大切です。 未来目標にも移住・定住というキーワードがあり、第1章の心わきたつまちづくり、第5章の心わきたつ生活環境に記載された内容や施策30に基づき、調書を評価しています。 事前に空き家所有者への調査が行われ、空き家バンクの登録件数はまだ10件にとどまっています。また、多くの所有者が空き家バンクの存在自体を知らないことも分かっています。これが、利用可能な空き家が移住・定住の受け皿として十分に流通していない要因の一つと考えられ、KPI にも関係しています。 打ち手として、固定資産税の納税通知書等の活用や、相談窓口の整備は、全国的にも空き家対策で重要とされています。相談の進捗状況の確認等も KPI に入っています。 ただし、すべての空き家・空き地が魅力的とは限らず、整理が必要な空き家もあります。どの程度が整理の対象となるかも KPI として設定されています。以上から、課題への打ち手、打ち手に対応する KPI、達成状況を確認する設定は適当であり、妥当と評価しました。以上です。
佐々木 会長	ありがとうございます。確認や質問はありますか。
委員	【なしの声】
佐々木 会長	特になければ、川島委員にお願いします。
川島委員	私の担当は、農業と商工業に分かれていますので、まず農業から説明します。 美里町は土地条件が非常に良いところです。仙台市や石巻市といった消費地にも近く、多くの水田で排水設備が整い、汎用性が高く、畑作にも水田にも使えます。米価が安い時期からこうした取組をしっかり行い、新しい農業が進んでいく地域といえると思います。 先ほどの舞台ファームなどの投資も進み、企業と連携した農業生産法人なども出てきています。KPI には 30ha 以上の大規模経営体数や、企業の農業参入などが入っています。舞台ファームの投資で新規参入者も増えており、これを加速させたいということです。 なぜ 30ha かという点ですが、一般的には 20～30ha 程度まで規模を拡大すると経営効率が高まり、それ以上、50ha や 100ha まで拡大しても、さほど効率は上がらないと言われています。その意味で、KPI として妥当な水準と考え

	ています。 高齢化は進んでいますが、農業ではそれを大規模化や現代的な農業への転換の機会と捉え、これまで行ってきたことを着実に進めることが大事です。そのため、前向きな評価になっています。 一方、商工業は課題を抱えており、職員の方々との議論でも厳しい状況だという話になりました。空き家に続いて、空き店舗の問題があります。駅前に店舗があっても入居がなく、情報も外に出ていないため、外から入ってくることも少ない状況です。 対策として、空き店舗の情報収集や情報提供、イベントなど、いろいろなことを行っています。起業者が場所を確保できない場合に、育成のための場所を提供する取組もあります。地方自治体として多様なことを行っていますが、残念ながら、効果は十分に出ていないということだと思います。 商工業では自治体ができることに限りがあります。できることとできないことを区別し、例えばJRと連携してできること、JRができること、自治体としてできることは何か、という視点で考える必要があると、担当課との話合いで感じました。私からは以上です。
佐々木 会長	ありがとうございます。確認や質問はありますか。
委員	【なしの声】
佐々木 会長	商工業も厳しい状況にあり、石内先生の空き家の内容とも関係します。空き店舗について、一気に解決できるものではないと思いますが、農業では舞台ファームとの連携等で成果があります。その延長でも何かできるのではないでしょうか。JRも最近、観光農園などを行っています。駅前を観光の拠点にするのがよいかは分かりませんが、川島先生からもあったJRとの連携など、思い切った政策を進めることが大事と思いました。 ここまで未来目標3つと主要課題について、報告がありました。残りは、私から13ページ以降を説明します。これまで空き家・空き店舗の話が続きましたが、今度は廃校校舎の問題です。 小牛田駅の東側に新しい美里中学校ができました。これは10年以上まちづくりと一体となって進められ、新しい魅力的な校舎が建つとともに地域活動を強化しています。 1つの中学校をつくるために3つの中学校を統合しました。小牛田地区の小牛田中学校と不動堂中学校は施設を解体し、小牛田中学校の跡地はスポーツ関連拠点、不動堂中学校の跡地は住宅関連拠点とするとのことです。 南郷地区の南郷中学校は、地域の意向等もあり、残すことが決定してい

	ます。これについては昨年地域ワークショップや企業サウンディングと併せ、意見を提示した経緯があります。 校舎を単体で残すにはアイデアが不足する中、全国におかえり集学校というモデルがあります。宮城県ではまだ展開されていないですが、実施主体はリサイクルパソコンなどを扱う事業者で、自らの資源や資金を投資して廃校を活用しています。そのモデルに美里町の地域性を加えて展開するという背景を踏まえ、評価報告を書きました。 評価報告では、3つをつなぐということが少し難しいので、住民にも分かりやすく、どうつながるかを図やイメージにして視覚的に整理し、示すことが求められると書いています。 新しい美里中学校では「熱中小学校」というイベントを行い、地域から好評を得ています。南郷地区が若干寂しくなっているので、そうした取組とも意識的に結び付けてほしいと書いています。 全体的な点として、私は総合計画に関わり、川島先生、石内先生とも一緒に取り組みました。今回、総合計画で新たにミサトミライ指標を作りました。せっかく作ったので、政策検討の中でも生かしてほしいと思います。ミサトミライ指標をもっと活用して、町内での説明や役場内部でも、単に数値を追うだけでなく、夢があり、若手職員がやりがいを感じられる使い方をしてほしいと、最後に書きました。 内容について、確認はありますか。
委員	【なしの声】
佐々木 会長	以上、5つの未来目標・主要課題について報告いただきました。夏休みの時期に時間を取り、役場の皆さんとしっかり話していただき、ありがとうございました。最後に、全体を通じた確認事項はありますか。
委員	【なしの声】
佐々木 会長	この時点で確認できた評価調書の修正は、小沢委員の分でした。 今後の修正内容の確認方法について、事務局の案をお願いします。
事務局 （髙橋補佐）	本日の審議により、全体の内容や方向性は共有できていると思いますので、修正内容の確認は会長一任としてはいかがでしょうか。
佐々木 会長	会長一任との提案ですが、よろしいでしょうか。
委員	【異議なしの声】
佐々木会長	それでは会長一任とします。 次に、修正した評価調書の提出についてですが、令和8年10月16日（金）までに事務局へ提出したいと思います。特に小沢先生と事務局のやり

	取りや、そのほかの委員で直したいところがある場合も、10月16日（金）までということで、あと3日しかありませんが、急ぎお願いします。 次に議事の答申について、事務局から説明をお願いします。
事務局 （髙橋補佐）	配布資料2の答申案をご覧ください。「政策評価の実施について」の答申と、別紙の令和8年度美里町政策評価報告書案です。報告書の後ろに、ただいま確認いただいた政策評価調書を添付し、町長へ答申いただきたいと考えています。答申文（案）と報告書（案）についてご説明します。 【配布資料2について説明】 以上です。
佐々木 会長	取りまとめ、ありがとうございました。事務局から説明がありましたが、諮問に対し、委員会として答申する必要があります。説明のあった答申案について、この内容でよろしいでしょうか。
委員	【異議なしの声】
佐々木 会長	それでは、了承いただいた内容で答申することとします。次に、町長への答申書の提出方法について、事務局からお願いします。
事務局 （髙橋補佐）	提出方法として、会長が町長へ直接手渡す方法、委員全員で手渡す方法、事務局に一任する方法などが考えられますが、これまでの例を申し上げますと、会長が美里町へご来町いただき、町長へ答申書を提出いただいておりました。事務局の案といたしましては、佐々木会長に政策推進・評価委員会を代表して町長への答申書提出をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。
佐々木 会長	例年は徳永先生が行かれていましたが、今回は私が行くということで、「いかがでしょうか。
委員	【異議なしの声】
佐々木 会長	それでは、今回は私が行くということで進めます。 最後に、その他です。委員の皆様から何かありますか。
委員	【なしの声】
佐々木 会長	今回、いろいろなヒアリング等を行いましたので、今後、教育・研究などの要望があれば、ご意見をいただければと思います。今後の展開につながるものがあれば、今日で終わりにせず、連携していろいろな形でつなげていただければと思います。事務局から何かありますか。
事務局 （髙橋補佐）	特にありません。
佐々木 会長	本日予定していた議事はこれで終了です。皆様、ありがとうございました。進行を司会へ戻します。

事務局 （小林課長）	ありがとうございました。お忙しい中、短期間で評価いただき、改めて御礼申し上げます。令和8年度の政策評価は今回の会議が最後となります。事務局の企画財政課としては、今後、新年度に向けた政策・予算編成に移りますので、先生方の意見を一つでも多く反映するよう努めます。引き続き、ご指導をお願いします。 閉会に当たり、川島副会長からご挨拶を頂戴します。
川島 副会長	企画財政課の皆さん、取りまとめありがとうございました。この評価に関わって数年になりますが、大学でも経営評価と大学評価という2本立てで評価を行っています。自治体に限らず、どの組織にも求められるものだと思います。ただ、評価は非常に大変で、労力がかかります。せっかく行うのであれば、職員のためになり、モチベーションの向上などにつなげてほしいと思います。今回は個別会で産業振興課の皆さんとざっくばらんに話しました。そうしたことが職員のモチベーションや公務員として働く意義につながれば、この評価も、もっと意味あるものになると思いました。お疲れ様でした。ありがとうございました。
事務局 （小林課長）	ありがとうございました。以上をもちまして、令和8年度第2回美里町政策推進評価委員会を終了します。ありがとうございました。

【午後３時４０分　閉会】

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和８年　　月　　日

委　員 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

委　員 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿